



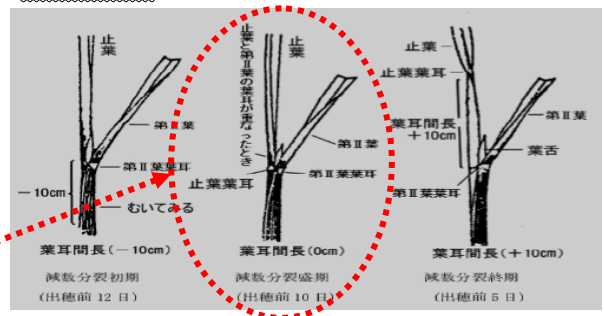
H28. 7. 21 JA越後さんとう

コシヒカリの生育状況 (7月20日調査:調査地点平均値)

項目	田植日	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (葉)	葉色 (SPAD)
7/20 指標値	5/10	79	410	11.9	34.0
寺泊	5/7	86	418	12.4	34.0
和島	5/6	87	361	12.6	33.6
出雲崎	5/4	91	323	12.4	32.7
与板	5/13	89	434	12.1	35.2
三島	5/8	92	454	12.7	33.9
越路	5/13	87	395	12.0	34.5
管内平均	5/9	88	399	12.3	34.0

- ・草丈：指標値比 111% 「長い」
- ・茎数：指標値比 97% 「並み」
- ・葉数：指標値比 +0.4 「やや早い」
- ・葉色：指標値比 ±0.0 「並み」

7月20日の生育調査において管内全域で草丈が長く、葉色は並みの状況です。また、ほ場間の生育格差が大きくなっていることから、必ず生育診断【葉色の確認・幼穂の確認(葉耳間長±0)】を行い、適正に2回目の穂肥を施用しましょう。



第13葉(止葉)と第12葉の葉耳が重なった時が出穂前10日頃となります。⇒2回目の穂肥適期!

1. 後期栄養確保対策

気象変動に備え、しっかりと後期栄養を補いましょう!



(1) 2回目(出穂前10日頃)の穂肥対応

7/31~8/3頃に出穂期を迎えるコシヒカリの2回目(出穂前10日頃)の穂肥時期は7/21~7/24と予想されます。今後不安定な天候が続くことが予想されますが、後期栄養不足による品質低下を防止するため、出穂10日前の穂肥は「しっかりと確実に施用」して下さい!(窒素成分:1.0kg/10a程度) ← 葉色状況等により施肥量を加減

※1回目穂肥が出穂前18日より遅れた場合は、1回目穂肥の7日後を目安に2回目を施用して下さい。

※「ほたる有機穂肥」を使用すると県認証基準を超えてしまう場合は、有機質100%肥料「味好2号」を使用して下さい。

(2) 3回目(出穂前10日以降)の穂肥対応

出穂前10日以降の穂肥は、食味低下につながる恐れがあることから、原則施用しないで下さい。ただし、ほ場条件等により出穂期までに葉色が極端に淡くなること(コシヒカリの場合:30以下)が想定される場合には、「出穂期3日前まで」(“はしり穂”が見られる頃まで)に生育にあわせて追加穂肥(県認証基準の範囲内で窒素成分1kg/10a程度)を施用して下さい。



「適」を下回らないように!!

基肥一発施肥の場合も、出穂期までに葉色値が極端に低下することが想定される場合は、出穂前10日以降の追加穂肥を検討しましょう!



ポイント

2. 斑点米カメムシ対策

アカゾ カメムシ・アカヒゲ ホリミド リカメムシが多発生！

7/19～の予察調査において、カメムシ発生地点率が上昇しています！

☆水田内および水田周辺の雑草管理の徹底！

☆適期の薬剤防除の実施！

密度の
抑制・低下

無人ヘリ防除除外区域（粒剤・豆つぶ剤散布区域）では、品種ごと・ほ場ごとの
散布適期：出穂期5日後～出穂期7日後（穂揃い期）に薬剤防除を実施して下さい。



薬剤名	使用量	散布時の水管理
スタークル粒剤	3 kg/10a	田面が湿った状態（飽水状態）～深い部分で3 cm程度の湛水
スタークル豆つぶ	250g/10a	ほ場全体を3～5 cm程度の浅水に湛水（漏水田等での使用×）

※ 散布後4～5日間は湛水状態を保ち、
散布後7日間は落水やかけ流しはしないで下さい。

散布最適期



出穂期



出穂期7日後



3. 紋枯病対策

7/20生育調査において、紋枯病が確認されています。今後は平均気温が上昇することにより
紋枯病の拡大が懸念されます。畦畔からの見歩きで、発病率1割以上（目安：25株中3株の発病）
が確認される場合は早期の防除を行いましょう！

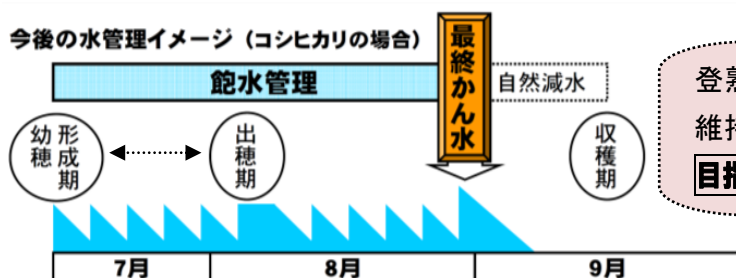
資材名	対象病害等：希釈倍数	備考
バリダシン液剤5	紋枯病：1000倍	治療のみ【緊急防除】 ※収穫14日前まで
バリダシン粉剤DL	紋枯病：3～4kg	

※粉剤DLの散布については、ドリフト（飛散）に十分注意しましょう！

4. 後期水管理対策

幼穂形成期～出穂期にかけて、水稻は多くの水分を必要とします。ほ場の状況を確認しながら、
コンバイン収穫に支障のない地耐力が確保でき次第、直ちに飽水管理に移行しましょう！

今後の水管理イメージ（コシヒカリの場合）



登熟後期まで土壌水分と後期栄養を
維持し、稲体を健全に保ちましょう！

目指せ3年連続1等米比率90%以上！



※生育状況について、ご不明な点等ございましたら、最寄りの営農センターへお気軽にご相談ください！